

《畜産経営緊急安定対策事業費》 (事業費：374,655千円)

【事業の目的】

口蹄疫により家畜市場が中止又は延期され、出荷できない畜産農家（肉用牛及び酪農家）を緊急的に支援し、畜産経営の継続的な安定を図る。

【事業の内容】

1 出荷遅延に伴う飼料費支援 (55,790千円)

市場の延期や中止により市場出荷できない牛の飼料費の一部を助成

- 1) 事業主体 : 全農大分県本部、大分県酪農協同組合等
- 2) 補助対象期間 : 市場上場が当初予定から再開まで遅延した間
- 3) 補助対象頭数 : 子牛市場 ; 10,130頭
素牛市場 ; 5,810頭
(市場開催を8月と仮定した場合に出荷遅延となる延べ頭数)
- 4) 補助単価 : 7千円/頭/月 (1ヶ月間に必要となる配合飼料代)
- 5) 補助率 : 県1/2

2 出荷集中等に伴う価格差支援 (195,480千円)

再開した市場の平均価格が全国平均を下回った場合、差額の一部を助成

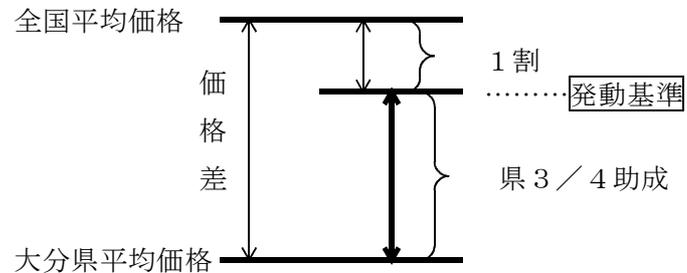
- 1) 事業主体 : 全農大分県本部、大分県酪農協同組合等
- 2) 補助対象者 : 再開後3ヶ月間の家畜市場に子牛又は素牛等を出荷した農業者等
- 3) 補助内容 :

区分	対象頭数	補てん対象限度額	補てん限度額
子牛市場	5,750頭	40,000円	30,000円
素牛(乳用)	1,090頭	4,000円	3,000円
素牛(交雑)	2,090頭	12,000円	9,000円
素牛(黒和)	50頭	24,000円	18,000円

※対象頭数は市場開催を8月と仮定した場合に出荷遅延となる頭数(一貫経営向け分を除く)

※補填限度額は出荷時期の遅延により想定される価格の下落額

- 4) 補助率 : 県3 / 4
 5) 発動基準 : 対象市場平均価格が全国平均を1割以上下回った場合



3 一貫経営誘導支援 (22,500千円)

出荷適期を過ぎた子牛等を肥育し、一貫経営を開始する際の経費の一部を助成
 ※既存事業：肥育総合対策事業（一貫経営促進対策事業）に追加して実施

- 1) 事業主体： 農協等
 2) 補助対象者： 口蹄疫の影響を受け肥育し、出荷後の枝肉成績の確認ができる者
 3) 補助単価：

既存 肥育総合対策事業 50千円/頭（県15千円、国27千円、農協等8千円）
 新規 一貫経営誘導支援 30千円/頭（県30千円）

計 80千円/頭（県45千円、国27千円、農協等8千円）

- 4) 対象頭数： 500頭

※市場開催を8月と仮定した場合に出荷時点で360日齢を超える頭数

4 畜産経営緊急対応分 (100,000千円)

口蹄疫の終息時期等や国の支援内容が不透明なことから、今後機動的な対応が必要となることを想定し計上

《口蹄疫緊急防疫対策事業費》 (事業費：125,748千円)

【事業の目的】

宮崎県で口蹄疫が拡大しており長期化が見込まれることから、終息宣言がなされるまで、本県への進入防止対策を強化する。

【事業の内容】

1 農場清浄性維持対策 (33,588千円 うち国庫16,794千円)

県内畜産農家への消毒薬の緊急配布の実施

1) 1回目 (4月29日～5月28日) : 家畜伝染病予防法に基づく消毒

2) 2回目 (7月下旬を予定) : 県自主消毒

・消石灰	偶蹄類飼養農家	18,336袋/20kg	} 2回実施
・次亜塩素酸Na	偶蹄類飼養農家	4,872本/600ml	
・ビルコンS	養豚農家	141本/5kg	

2 口蹄疫侵入防止対策 (74,920千円)

(1) 宮崎県境における侵入防止対策

宮崎県境の主要道路において消毒ポイントを設置し、車両消毒を実施

一般国道10号、326号、388号

一般車両を含む全通行車両に対し、24時間体制で消毒を実施

(2) 防疫作業円滑化対策

防疫作業を円滑に実施するため、消毒薬の備蓄を補充・強化

3 市場開催時における防疫強化対策 (17,240千円)

県境主要幹線等における県外からの畜産関係車両への臨時消毒ポイントの設置

(国道10号、57号、210号、387号、442号等12カ所)